

産地生産基盤パワーアップ事業(収益性向上対策)評価書

都道府県名	事業実施 地区数 (ア) <sup>※1</sup>	評価対象 外地区数 (イ) <sup>※2</sup>	評価対象 地区数 (ア-イ)	成果目標の平均達成率 <sup>※3</sup>	評価対象地 区数のうち、都道府 県が地域協 議会へ改善 指導を必要 とした地区 数	地方農政局 等から都道 府県計画の 改善指導の 必要の有無	【参考】 評価対象地 区数のうち、達成率 80未満の地 区数	評価対象外 の地区があ る場合、そ の代表的な 理由	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
鹿児島県	15	0	15	84.9%	3	有	3	-	<p>【県全体】 令和6年度を目標年度としている15計画のうち12計画は目標を達成し、3計画は目標を達成することができなかった。 目標未達成となった計画を策定した地域協議会に対しては、目標達成に向けて、関係機関・団体と連携して指導を行っていく。</p> <p>1 収益性向上対策 (販売額または所得額の10%以上の増加) 野菜3計画、茶2計画は、無人ヘリコプター、農産物処理加工施設等の整備及び導入により、販売額が増加し、計画どおり10%以上増加することができ、目標達成となった。 野菜1計画、果樹1計画は、低コスト耐候性ハウス、搾汁ラインを整備及び導入したが、高温等の気象条件の影響で生産量が減少し、目標を達成することができなかった。</p> <p>(契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とすること) 茶1計画は、茶園管理機等のリース導入により、計画どおり契約栽培の割合を増加させることができ、目標達成となった。</p> <p>(輸出向け出荷量の10%以上の増加) 茶4計画は、農産物処理加工施設等の整備等により、計画どおり労働生産性を向上させ、目標達成となった。 野菜1計画は、集出荷貯蔵施設を整備したが、取引先からの物流の変更等があり目標を達成することができなかった。</p> <p>(燃油等の化石燃料を使用しない加温機の導入面積を産地の50%以上に拡大) 野菜2計画は、ヒートポンプのリース導入により、計画どおり目標達成となった。</p>	<p>県の成果目標平均達成率は、国が達成と判断する90%に対し84.9%であり、目標は達成されていない。 このため、農政局から県に対し、成果目標の達成に向け要因分析及び改善措置の提出を求めるとともに、未達成の地域協議会及び取組主体に対しては、県担当者から指導を行うなど、県による主体的な取組を指導する。 なお、鹿児島県が改善措置を必要とした地区(達成率90%未満)の概要は、3地区である。</p> <p>(参考:成果目標未達成地区の概要)</p> <p>【野菜】2地区 評価対象2地区ともに目標未達となっている。 1地区(いちご)については、夏場の高温等の影響により収量が伸び悩み「販売額増加の目標」が未達成となった。 1地区(だいこん)については、主要取引先が当初計画していた取引量を扱うことが困難となったことから「輸出向け出荷量増加の目標」が未達となった。</p> <p>【果樹】1地区 評価対象の1地区については、裏作や、豊作年の着果過多及び夏季の干ばつによる水分不足の影響で樹勢が低下し、収量が大きく減少したことから、「販売額増加の目標」が未達成となった。</p>

※1 評価年度を迎えた地区数を記載する。(中間評価は除く。)

※2 評価対象外地区数については、天災等の外部的要因により、評価対象と判断されなかったものについて記入する。

※3 小数点第1位まで記載する。(小数点第2位切捨て)

## 産地生産基盤パワーアップ事業(生産基盤強化対策)評価書

都道府県名	事業実施地区数 (ア) <sup>※1</sup>	評価対象外地区数 (イ) <sup>※2</sup>	評価対象地区数 (ア-イ)	成果目標の平均達成率 <sup>※3</sup>	評価対象地区数のうち、都道府県が地域協議会へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	【参考】評価対象地区数のうち、達成率80未満の地区数	評価対象外の地区がある場合、その代表的な理由	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
鹿児島県	1	0	1	95.5%	0	無	0	-	<p>堆肥施用による土壌改良を推進した結果、成果目標に対する達成率が95.5%と概ね達成することができ、鹿児島県のさとうきびの作付面積の維持に寄与できたものと考えられる。</p> <p>併せて収穫面積の確保や単収向上を図るため、農作業受託組織等の育成や優良品種の育成・普及等、継続的なさとうきび栽培に繋がるよう取り組んだ。</p> <p>農作物の生産において土づくりは最も基本的かつ重要な技術であり、また、畜産業が盛んな本県において家畜排せつ物である堆肥の活用は、化学肥料の使用量低減に繋がり、農家の経営安定のための重要な取組である。</p> <p>県は今後も良質堆肥の積極的な施用による土づくりを推進していく。</p>	鹿児島県の成果目標平均達成率は、国が達成と判断する90%に対し95.5%であり目標は達成された。

※1評価年度を迎えた地区数を記載する。(中間評価は除く。)

※2評価対象外地区数については、天災等の外部的要因により、評価対象と判断されなかったものについて記入する。

※3小数点第1位まで記載する。(小数点第2位切捨て)